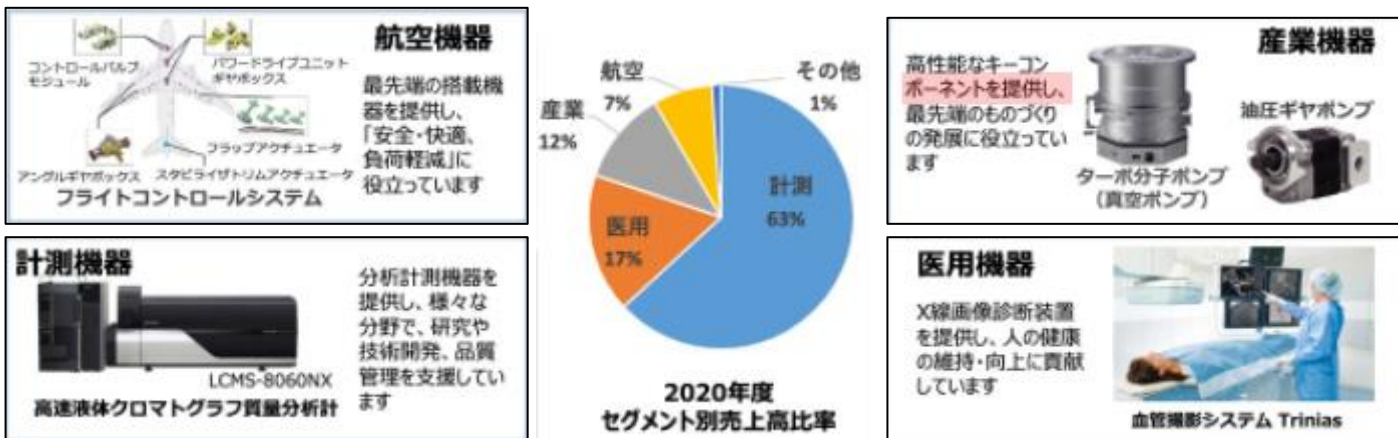


NMO OfficeLetter

島津製作所が日水製薬をM&Aで傘下に！

島津製作所は5月31日、日本水産の上場子会社である日水製薬に対して完全子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。日本水産の保有分（54.06%）を除く、45.94%の株式取得を目指す。買付代金は最大約176億円。残りの日本水産が保有する全株式については日水製薬が自社株式取得を行う。島津は2015年に日水製薬と臨床検査事業に関して業務提携したが、傘下に取り込むことで同事業の一層の拡大につなげる。日水製薬はTOBに賛同している。日水製薬の買付価格は1株につき1714円で、TOB公表前日の終値990円に73.13%のプレミアムを加えた。日本水産が保有する日水製薬株式のうち、9割近い47.56%について担保権が設定されており、今後、島津はこの担保権設定の解除を待って6月末をめどに買い付けを開始する。買付期間は20営業日を予定。また、TOB成立後に行われる日水製薬による自社株式取得の買付価格は1662円。自社株取得の費用は約201億円。日水製薬は1935年に日産水産研究所として設立。クジラの肝臓から増血栄養剤、動物胆汁から胃腸薬などを製造した。1962年に現社名に変更し、臨床診断薬、食品や医薬品製造用の産業試薬などを中心に医薬品事業に本格的に乗り出した。1990年に東証2部に上場。2006年に東証1部に昇格し、2022年4月に東証プライムに移行した。

＜解説＞島津製作所は明治8年創業の京都では老舗の製造業で、その後二代目島津源蔵氏により大きく飛躍した。当初は教育現場で使用する理化学機器を製造していたが、その後蓄電池（バッテリー）の開発に着手し、バッテリー製造専門の企業として1917年日本電池を設立（現在はジーエス・ユアサ）。その後、蓄電池製造から派生する事業として1929年大日本塗料を、フォークリフトなどを製造する日本輸送機（現在は三菱ロジスネクスト）を1937年に設立。また人体模型を提供する京都科学など、国内23社、海外53社の連結子会社がある。2020年度の事業分野別売り上げは、計測器事業が63%、医療用分野が17%、産業用機器分野が12%、航空機分野が7%、その他1%となっている。コロナの影響もあり、計測器事業と産業用機器分野が伸びている。今回のM&Aは、医療用分野へ積極的に事業展開を図る目的があると思われる。ここ数年、島津製作所は積極的にM&Aを仕掛け、海外への進出も含め、新しい事業展開を計画している。



2022年2月26日にログミーFinance主催で行われた、第32回 個人投資家向けIRセミナー Zoom ウェビナー 第3部・株式会社島津製作所に関する資料より